

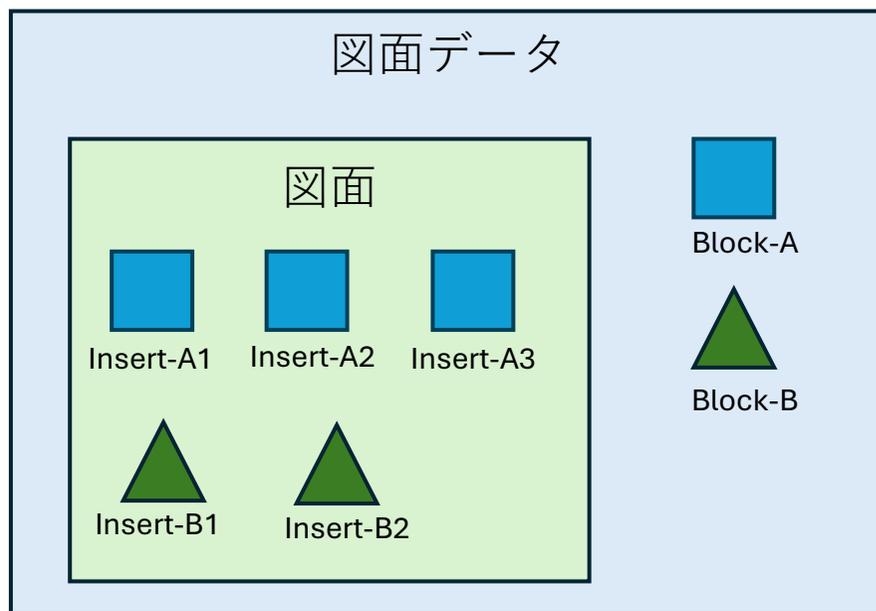
ブロックの再定義とは

「ブロックの再定義」とは、いったいどういうことでしょうか。

これには、まず「ブロック」の情報、ブロック定義がどこに存在しているかを理解する必要があります。

■ 「ブロック定義」と「ブロック参照」

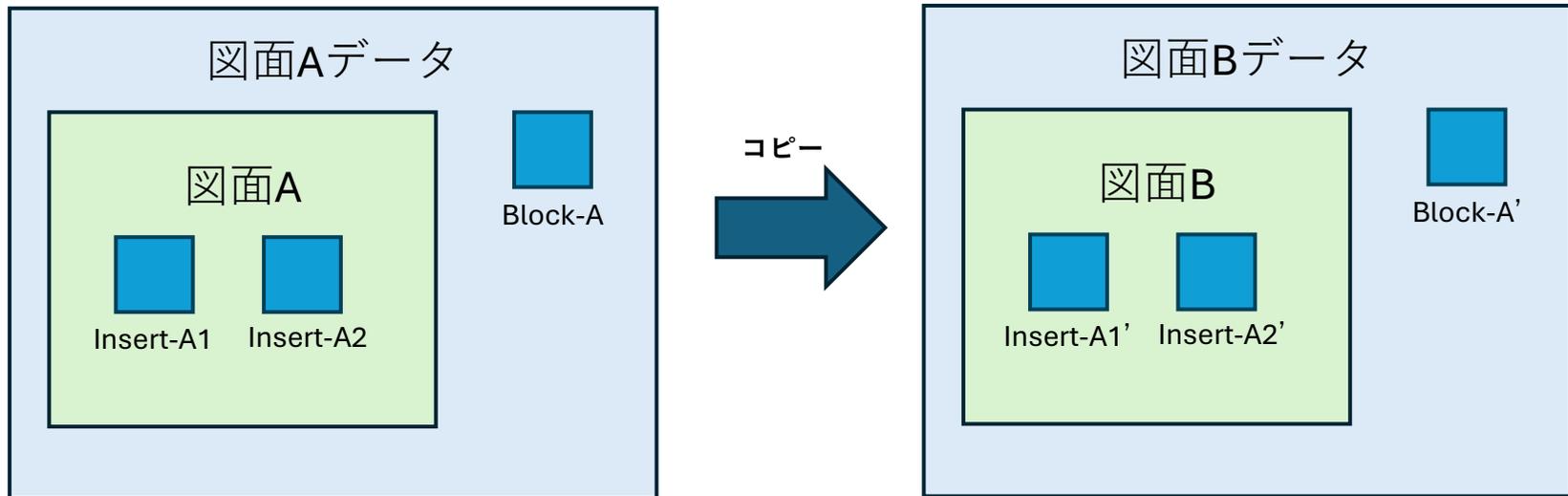
私たちが普段「ブロック」と呼んでいるものには、実は2つの状態があります。一つは、ブロック作成／編集時に作成した「ブロック定義」、もう一つは、ブロックを図面に挿入した結果描画された「ブロック参照」です。前者は「Block」「ブロック定義」などと呼び、後者は「Insert」「ブロック参照」などと呼ぶのが正しいのですが、「ブロック」と一言で両者を意味する使い方をする場合が多いので混乱しがちです。



上図に示すように、図面内に複数ある「四角」と「三角」の「ブロック参照 (Insert)」の元データである「ブロック定義 (Block)」は一つで、図面上にはなく図面データの中に存在しています。

つまり、「ブロック定義」をもとにして、新たに「挿入位置」「回転角度」「尺度」「画層情報」「色／線種／線の太さ」「透過性」「属性」などの様々な情報を付加して図面上に挿入（描画）したものが「ブロック参照」ということになります。

■ 同じブロックを複数の図面で使用すると、図面の数だけ「ブロック定義」ができる



「ブロック定義」は、図面データの中にあるので、図面Aをコピーして図面Bを作成すると、上図のように「ブロック定義」は、「Block-A」と「Block-A'」の2つになります。コピー直後、この2つは全く同じものですが、図面Aと図面Bはそれぞれ独立して編集可能ですので、「Block-A」と「Block-A'」にそれぞれ異なる編集を加えることができますので「Block-A」 = 「Block-A'」ではなくなることが考えられます。

■ 「ブロック再定義」

例えば、図面Aの「ブロック定義(Block-A)」と「ブロック参照(Insert-A1、Insert-A2)」を 図面Bの「ブロック定義(Block-A')」に従って更新することを「ブロック再定義」と言います。

「ブロック定義(Block-A)」は、「ブロック定義(Block-A')」と全く同じ定義に書き替えられ、それをもとにして図面A上の「ブロック参照(Insert-A1、Insert-A2)」が再描画されます。

※ 「ブロック再定義」はブロック名称が同一であることが必須です。

■ 「ブロック再定義」の実際

(1) デザインセンター (DesignCenter) から再定義

次の例は、図面A と そのコピー図面B にて、図面Bにて変更したブロック（ブロック名：正方形）に変更を加えたのち、図面Aのブロックを再定義する様子の動画です。

デザインセンターを開き、図面Bのブロック定義を参照、「ブロック名称：正方形」のアイコンを右クリックして「再定義のみ」を選択、クリックすることで「ブロック：正方形」の再定義が実行されます。

[動画：ブロック再定義 操作例 1](#)

(2) ブロックパレットから再定義

次の例も、図面A と そのコピー図面B にて、図面Bにて変更したブロック（ブロック名：正方形）に変更を加えたのち、図面Aのブロックを再定義する様子の動画です。

図面Aにて、[ブロック]パレット-[最近使用]タブを開き、図面Bにて変更を加えたブロックのアイコンを右クリックして「再定義のみ」を選択（クリック）することで「ブロック：正方形」の再定義が実行されます。

[動画：ブロック再定義 操作例 2](#)

同様に、[ブロック]パレット-[お気に入り]タブ、[ブロック]パレット-[ライブラリ]タブからも「ブロック再定義」が可能です。